

グラフ
ふくおか

GRAPH
FUKUOKA

No. 587

2017 SUMMER

夏

特集

古都の
香りただよう
太宰府の夜

ふくおか農林水産

農業で
ふくおかを
元気に

夏

グラフ 福岡

グラフ福岡 夏号 SUMMER 2017(通巻587号) 平成29年6月20日発行(季刊)
 〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号
 ☎092(643)3102(直通) ファクス092(632)5331
 県ホームページ <http://www.pref.fukuoka.lg.jp/>
 ※グラフ福岡のバックナンバーも掲載しています

03	特集	古都の香りただよう太宰府の夜
08	知事の ふるさと訪問	鞍手町
10	福岡 農林水産	農業で福岡を元気に
14	福岡古代 テクノロジー	福岡・古代の夜明け 稲づくりから、国づくりへ
16	きらめき マイタウン	吉富町
22	小特集	ご当地アイスを探しに行こう!
24	小特集	デザイン力で福岡から全国へ、そして世界へ
26	県政フラッシュ	
27	情報広場	
28	県議会だより	

表紙
紹介

八女の茶畑

毎年、4月中旬の新茶にはじまり、8月上旬の三番茶まで、長い期間をかけて収穫される八女茶。日本中で広く親しまれており、全国茶品評会でも農林水産大臣賞をはじめ数多くの賞を受賞するなど高い評価を得ています。

おいしいお茶の決め手は、枝先に伸びる新芽がみずみずしく、やわらかい時に適期を逃さず収穫すること。この新芽の部分は、お茶独自のうま味成分がたっぷりと含まれているのが特長。現在、お茶の収穫真っ盛りの八女地域では、美しい緑の茶畑が広がっており、その景色でも私たちを楽しませてくれます。





悠久の時を伝える古都・太宰府。
その豊かな森にたたずむ九州国立博物館は、
4月から週末の金曜・土曜日に夜間開館を始めました。
それにあわせて、太宰府天満宮の開門時間も延長。
さらに、楼門や参道の鳥居周辺がライトアップされ、
幻想的な美しさを演出します。
昼間とは違う、古都・太宰府の夜の魅力を発見してください。



古都の
香りただよう
太宰府の夜





夜の博物館たんけん隊

博物館の”守る””展示する” ”運ぶ”を学ぶ

4月から、九州国立博物館は毎週金曜、土曜日に午後8時まで夜間開館を実施しています。展示物をゆつくりと鑑賞できる上に、多彩なナイトイベントで来場者を迎えます。

中でも、人気の高い催しが、バックヤードツアー「夜の博物館たんけん隊」です。普段は見れない博物館の”守る””展示する””運ぶ”をのぞくことができ、夜間開館限定のイベントです。

まずは、博物館の”守る”。最初に目に飛び込んでくるのが、丸いタイムカプセルのような文化財用燻蒸装置。奈良・正倉院で実際に使われていたわが国第1号のもので、今は現役引退しています。長い間、宝物を害虫から守ってきました。現在、九博では低酸素による酸欠や二酸化炭素によって害虫を駆除する装置を設けています。

※文化財の虫害対策のために開発された装置。タンク内を減圧し、ガスを充滿させることにより殺虫する。

次に向かうのは、博物館の”展示する”を学べるコーナー。展示物が魅力的に見えるように、ケースのガラスは二重構造で、特殊なフィルムが貼られています。美しく見せるためのこだわりはガラスだけではなく、展示物を調節する装置があり、展示物により光の当てる角度を微妙に変えることで文化財をより美しく浮かび上がらせます。

最後は、博物館の”運ぶ”を体験。文化財を運ぶ巨大なエレベーターは、その見た目とは裏腹に揺れもなく、貴重な文化財を安全に運ぶことができます。博物館の仕事の一端を間近に見られる「夜の博物館たんけん隊」は、毎月第1土曜日の夜間開館の時だけ特別に開催しています。

ナイトミュージアム体験

夜間ならではの魅力を満喫

他にも、普段は禁止されている展示室でのスケッチを解禁して、仏像を360度好きな角度から描ける「スケッチしナイト☆」を開催。また、月末の金曜日には「プレミアムフライデーライブ」を実施。5月の「二胡の夕べ」では、幻想的なコンサートが催されました。

また、7月11日から9月3日まで、特別展「世界遺産ラスコ1展」が開催されます。これは、2万年前のクロマニヨン人たちが

が描いた、世界遺産のラスコー洞窟を展示室に再現するというもの。2万年の時を超え、タイムスリップしてきたクロマニヨン人が現れ、クロマニヨン語で話すといったイベントにきつと好奇心が引き立てられることでしょう。週末の夕方、学校や仕事帰りに気軽に博物館へショートトリップしてみませんか。きらめく星空の下、夜ならではのミュージアム体験で、新しい九博の魅力に触れてみてください。

- 1/夜間の九博の外観。静謐な森の中にたずむ姿が美しい
- 2/ナイトミュージアム中のエントランス。夜ならではの明かりの風情が楽しめる
- 3/5月27日に催された第1回「スケッチしナイト☆」。スケッチ作品は再現文化財・大日如来坐像
- 4/5月26日に行われた「プレミアムフライデーライブ」での二胡の演奏。夜ならではの幻想的な雰囲気に魅了された
- 5/4月28日に行われた夜間開館のオープニングセレモニー。夜間開館スタートを祝う点灯式の様子

夜間開館イベント
問い合わせ先

九州国立博物館
☎ハローダイヤル
050-5542-8600
ファクス
092-929-3276

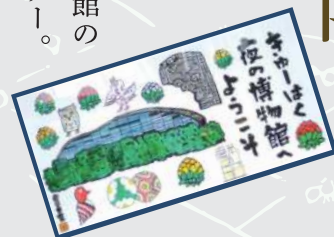
特集

古都の香りただよう太宰府の夜

ロマンチック

あじっばの夜

昼間は、子どもたちの笑い声や珍しい楽器の音が絶えない、九博の体験型展示室「あじっば」。ここは日本と交流があったアジアやヨーロッパの楽器やおもちゃ、衣装、生活道具を五感で楽しむことができます。昼間、にぎやかな「あじっば」も、夜は異国情緒あふれる幻想空間へ。夜間開館に合わせて、展示時間も午後8時まで延長されました。「あじっば」で、ロマンチックな夜を過ごしてみませんか。



6/かつて正倉院で使われていた文化財用燻蒸装置 7/展示ケースや大道具が並ぶバックヤードを見学 8/文化財専用エレベーター。幅3m、奥行5m、高さ3.8mの巨大なエレベーターで、揺れもなく昇降する 9/展示ケースの下には、調湿剤を入れるスペースがある 10/車の排気ガスなど外気を入れない巨大な二重シャッター 11/有事の際にも貴重な文化財への二次災害を防ぐ純水ベースの消火器。初期消火はこれで行うが、それを超えると、展示室に窒素を充滿させて炎を消す

ひとあじ違う 古都・太宰府の 夜の魅力を 体験しよう



荘厳な夜の拝殿 いつもとは違う 流れていきます

中国語、韓国語、英語など、さまざまな言葉が飛び交う昼間の太宰府天満宮。海外からのクルーズ船が博多港に到着するたびに数千人の外国人観光客が太宰府天満宮を訪れます。昼間はにぎわう境内も午後5時頃には落ち着きを取り戻します。そんな太宰府の夜の魅力をご紹介します。

この春から、九博の夜間開館に合わせて、太宰府天満宮も午後8時半まで開門。九博と境内を結ぶエスカレーター、昇降口にも明かりがともり、足元灯が夜道を照らすので、安心してお参りができます。

ライトアップされた煌びやかな楼門をくぐったら、夜間照明に浮かび上がる安土桃山様式の荘厳な拝殿へ向かいます。静寂に包まれた、夜ならではの心静かな参拝を楽しめます。

地域が連携して 情緒豊かな 太宰府の夜を創出

暮れなずむころ、太宰府天満宮の参道にも明かりがともり、3基の鳥居が幻想的に浮かび上がります。これも、九博の夜間開館を機に始まったライトアップです。

ライトアップの光の色は季節によって変化。桜色の春から、夏は新緑の緑色へ。秋には紅葉を、冬は青の世界をイメージした色に変わる予定です。美しい光は参道に新たな命を吹き込むかのようです。

一方、参道の店舗も動き始めました。夜の観光客の安全への配慮とおもてなしの気持ちを含めて、紙袋にLEDライトを入れて足元灯を、通路に置くようになりまし。また、太宰府名物「梅ヶ枝餅」のお店など、一部の店舗も営業時間を延長。夜ならではのゆつたりとした時間を楽しむことができます。



さらに、これからの季節、七夕祭（7月7日）、夏祭り（7月24、25日）、千灯明（9月25日）と、太宰府天満宮の夜のお祭りも見逃せません。特に、千灯明当日に合わせて市民の手による「古都の光」という、風情あふれるライトアップイベントも催されます。

これらのライトアップや、九博の夜間開館が夜のにぎわいを生み出し、それが夜の飲食や宿泊、翌朝の天満宮参拝などに結び付くことで、従来の通過型の太宰府観光とは違う流れができればと、地元も期待を寄せています。九博の夜間開館を受けて、市、太宰府天満宮、観光協会、商工会、そして各店舗が一体となって取り組む太宰府ナイトエリアの創出。その連携は、太宰府の新たな魅力を掘り起こそうとしています。

【問い合わせ先】 ■太宰府天満宮 ☎092-922-8225 ■太宰府市観光経済部 ☎092-921-2121 ■太宰府観光協会 ☎092-925-1899

時間が



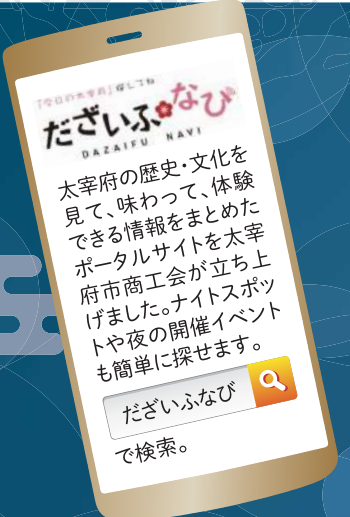
古都の夜を彩る ナイト・イベント

七夕祭

太宰府天満宮の境内で午後6時半から、幼稚園児による歌、楽器演奏、熊本県山鹿市の「山鹿灯笼踊り」などが奉納されます。中でも、山鹿灯笼踊り保存会と地域の人々の参加による、あでやかな総踊りは必見です。この日は参道の鳥居もライトアップされ、七夕の夜を華やかに演出します。

古都の光

水城跡、大宰府政庁跡、戒壇院、観世音寺など太宰府にある史跡を多くの人に知ってもらおうと始まったイベント。地域の人々も参加し、さまざまな趣向を凝らした灯明で、太宰府の町に「光の道」を作り出します。美しく幻想的な光が古都・太宰府の夜を照らします。



対談

地域で
頑張る皆さん

「元気で長く住み続けることができる、魅力的な地域であり続けるよう頑張ってください」と知事

「社会福祉法人鞍手町社会福祉協議会」会長の由衛久子さん。「子どもたちが心豊かに育ってほしい」との願いから、読書を通じたボランティア活動にも力を入れている



特産品の巨峰を生産する「JA直鞍ぶどう部会鞍手支部」副支部長の岡松寿紀さん。ぶどう祭りの開催や巨峰アイスクリームの販売など認知度向上・販路拡大に取り組む



「鞍手町商工会青年部」部長の楠田和延さん(写真上)と相談役の石井大輔さん。2年に一度開催される「くらて星空シアター」など、商工会の活動を通じて町を盛り上げている。昨年の熊本地震の時には現地ボランティアに参加



「idea愛ランド」代表の栗田恵さん。自身の子育て体験をきっかけに赤ちゃんの生活リズムを記録するカレンダーなどのアイデアグッズを考案。制作販売まで手掛けている



「鞍手町シティブロモーション」公認サポーターの播野巧磨さん(写真上)と景子さん夫妻。平成27年、県の「トライアルワーキングステイ」に参加し、鞍手町でのお試し居住を体験。海外や都会の価値観とは異なる魅力を発見し同町に移住。地域の交流活動や移住体験プログラムの企画・運営に携わっている



鞍手町商工会青年部

団体紹介



昭和37年に設立され、現在のメンバーは24歳から45歳までの23人。閉店した地元の「きらく食堂」のオリジナルソースの味を復活させた「復刻きらくソース」は町の新しい名物に

株式会社野上養鶏場



昭和30年の創業以来、新鮮でおいしく、安全な卵を全国に届けている。卵は町の農産物ブランド「鞍手う希」に認定され、町内外から高い評価を受けている



卵かけご飯、スイーツなどを試食。「卵自体が甘くておいしい」と知事



カフェで販売している卵たっぷりの「生ぶりん」と「シュークリーム」が人気

くらて学園



平成27年に廃校となった中学校を架空の学校「くらて学園」として開放し、サブカルチャーのイベント会場や撮影スタジオとして再活用。毎月開催の撮影イベントは毎回200人以上が参加するほどの人気ぶり



スタジオで撮影した写真を編集



学園では立体物を造形できる3Dプリンタの活用など最先端のモノづくりが行われている

鞍手町総合福祉センター「くらじの郷」

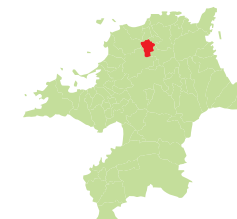


乳幼児の4カ月健診と併せて実施されている「ブックスタート事業」は、絵本を通しての触れ合いが目的。知事も飛び入りで読み聞かせを楽しんだ

乳幼児健診に参加した親子と「ブックスタート事業」を支えるボランティア団体の皆さんと懇談



小川知事が県民の皆さんと直接触れ合う「知事のふるさと訪問」。移住定住施策や漫画・アニメを活用した事業などに取り組みむ鞍手町を訪れました。



くらてまち
鞍手町

平成29年5月18日

鞍手町立鞍手中学校



体育会の練習に励む生徒の皆さんは「より良い学校にしたい」「伝統に残る大会に!」「たくさんの人に和太鼓演奏を届けたい」と、意欲的に語った



和太鼓部がパワフルな演奏で熱烈歓迎!文化祭や地域イベントでも演奏し、喜ばれている



平成27年に2つの中学の統合により誕生した、生徒数400人を超える大規模中学校。専門学校跡地の校舎を活用しており、充実した環境が魅力

株式会社プレジール

平成26年に鞍手町に進出し、トイレカーなど特殊車両を企画製作販売。従来の仮設トイレより簡単に設置・利用でき、レンタルにも対応。お祭り会場、野外ライブなどのイベントや工事現場、災害現場などでも利用され、昨年の熊本地震では避難所の衛生環境を守るために貢献した



製作中のトイレカーの機能・活用事例の説明を受けた



農業で ふくおかを元気に

海山の幸に恵まれ、豊かな食文化を誇る福岡県。このコーナーでは、福岡県の農林水産業に従事する「人」と、旬の福岡の「食」、そして、それらを支える「取り組み」などを4回にわたりお伝えします。第1回目の今回は、八女茶の生産に情熱を注ぐ若き担い手を訪ねました。



「手をかけただけ、反応があるのがお茶づくりの魅力」と語る江島啓一さん

これからの
担い手

ふるさと意思の フレッシュな就農一年生

全国有数の高級茶の産地として知られる八女で、昨春から新たに一人の青年がお茶づくりに挑んでいます。

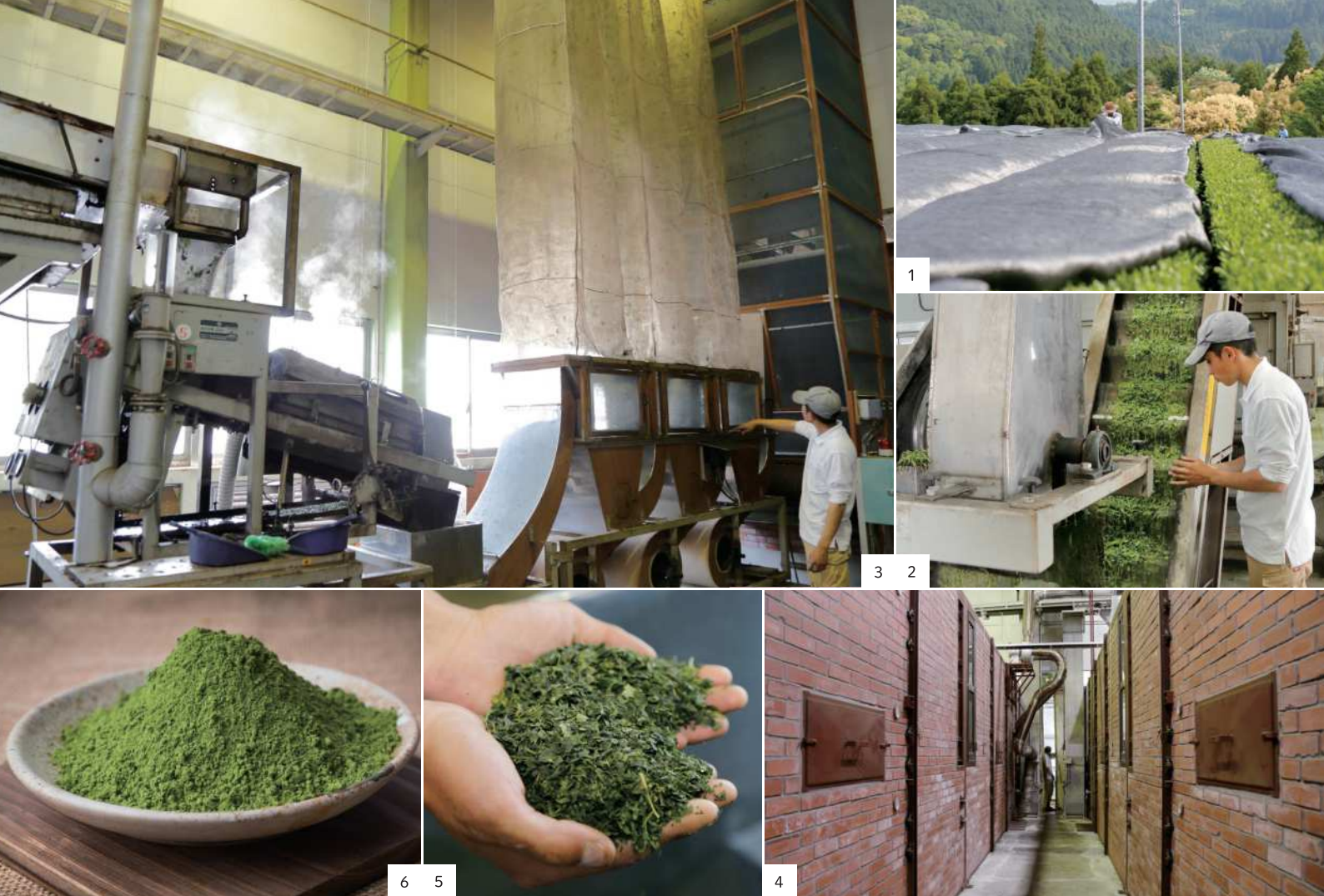
農事組合法人八女美緑園製茶の江島啓一さん。中学生のころから実家の茶業を継ごうと決めていた江島さんは、地元の農業高校を卒業後、静岡県の国立茶業研究センターで学び、同県のお茶農家で一年間働いた後、帰郷。現在は父親の「一信さん」ともに土づくりから手がけ、安全安心なお茶づくりに励んでいます。

柔軟なアイデアで 新しいお茶の可能性を探って

栽培から製造、販売までを一貫して行う八女美緑園製茶は、平成8年、一信さんをはじめ5軒のお茶農家によって設立。共同で栽培や加工を行うことで、作業の効率化やコストダウンを図りました。また、商品の付加価値を高めるため、地元では数少ない碾茶工場の建設といった取り組みも実現しました。こうした取り組みをさらに進めたい、と語る啓一さん。

「6次産業化に挑むなど、今後もアイデア次第でお茶市場はまだまだ広がる可能性を秘めていると思います」。啓一さんは現在、若手の農業者でつくる団体のメンバーとしても活動中。菊やバラなどを生産する農家とタッグを組みながら、八女茶を使ったブランドティーやアロマ商品の開発を進めるなど、啓一さんの挑戦は続いています。

※碾茶：茶葉をもまずにそのまま乾燥させたもの。石臼でひき、粉状になると抹茶になります。



1. 抹茶の原料となる碾茶の栽培風景。一定期間、茶畑を被覆素材で覆い、日光を遮って育てることで、渋みを抑え、うま味が増す 2. 摘み取った生茶は放置しておくことで発酵が始まるため、製造工場では蒸される 3. 蒸した生葉は、冷却用の散茶機の中で、風力で吹き上げながら、重ならないよう冷却させる 4. 散茶機で冷却した生葉は、さらにレンガ造りの200度近い乾燥機の中で乾燥させる 5. 乾燥した茶葉を細かくより分け、茎などを取り除いて仕上げた碾茶 6. 出荷された碾茶は、石臼でひくことで美しい粉状の抹茶に仕上がる



若手からベテランまで一緒に作業を行いながら、技術の継承に取り組んでいる



支

農林水産業を
応援

食や農林水産業への理解を深めてもらおうと、福岡県では、「食育・地産地消 県民運動」を展開。家庭や学校、店舗、企業、団体で、さまざまな取り組みを行っています。



応援ファミリー



農林水産物を食べて応援！
農林漁業を体験してみよう！

県産農林水産物を積極的に購入することで、本県の農林水産業を応援する「ふくおか地産地消応援ファミリー」。田植えや加工品づくりなどの体験ツアーを催し、食を支える農林漁業への理解を深めています。

応援の店



福岡の多彩な食の魅力を
応援の店で味わおう！

年間を通じて県産の農林水産物を使った料理などを提供している飲食店や菓子店「ふくおか地産地消応援の店」。現在、約1300店舗が認定されています。中でも、昨年、第9回地産地消給食等メニューコンテストで、農林水産大臣賞を受賞した県庁11階の「よかもんカフェ」では、地場の食材や調味料を使った日替わり弁当をはじめ、カフェメニューを展開しています。



応援団体

体験を通じて伝える、食育
地域活性化や国際交流にも貢献

福岡県の農林水産物の消費拡大につながる活動や農山漁村地域での社会貢献活動に取り組む企業や団体が参加。

応援団体の九州電力株式会社福岡支社では、公益財団法人オイスカ西日本研修センターと「きゅうでん米作りプロジェクト」を

発足。都市部の親子を対象とした田植えや稲刈り体験などを行っています。



応援ファミリー、応援の店、応援団体は、随時募集中です。詳しくは、[福岡のおいしい幸せ](#) で検索！

福岡の
自慢の
産物

食



深いうま味とコクが広がる
香り豊かな銘茶

まろやかな甘みとうま味が特長の「八女茶」は、全国茶品評会で数々の受賞歴を誇る高級茶として知られます。稲わらなどの天然素材で日光を遮って栽培し、手摘みにより収穫を行う「八女伝統本玉露」は平成27年、国の地理的表示保護制度(GI)にお茶として初めて登録されました。

八女茶



博多和牛

やわらかな肉質、
口に広がるジューシーな肉汁



「博多和牛」とは、生産者として登録された農家が、県産の稲わらなどで育てた肉質が3等級以上のものをいいます。やわらかな肉質が自慢で、和牛肉の九州大会において最高位の金賞を受賞しました。



とよみつひめ

蜜のように甘く、
トロリとなめらか



県の農林業総合試験場豊前分場が開発し、平成18年に品種登録された「とよみつひめ」。県内でしか栽培されていない福岡限定のいちじくで、糖度が高く果肉は肉厚で、なめらかな食感が特長です。豊前の「豊(とよ)」と、甘さを象徴する「蜜(みつ)」にかけて命名されました。



はかた地どり

やわらかく、噛むほどに
うま味が増す、こだわりの味

水炊きやがめ煮など福岡の郷土料理に適した鶏肉を届けたい、と30年前に大シャモをベースに県が独自に開発した「はかた地どり」。その後、うま味成分のイノシン酸を多く含む在来品種「サザナミ」を掛け合わせることで、やわらかく、歯切れのいい肉質を誇る鶏肉となりました。

今からおおよそ2400〜2500年ほど前の弥生時代、水田稲作の技術が中国や朝鮮半島から北部九州に伝来しました。また、同時期に伝わった青銅器や鉄器も、武器や権力の象徴として社会を一変させていきます。

稲作文化が根付くと、人々はそのに住居を構え、ムラ(集落)を形成するようになり、水路として、また、他のムラからの防衛として濠を巡らした環濠集落が誕生しました。特に農耕社会が定着した福岡県には、朝倉市の「平塚川添遺跡」のような環濠集落が少なくありません。

この環濠を巡らすには、技術や道具だけでなく、それを担う相当数のムラ人を束ねる首長の存在が必要で、やがて、彼らは近隣の集団を統合し、より巨大な権力を握る王となりました。県内にはいくつもの王墓が存在し、特に「魏志倭人伝」にも登場する「伊都国」には、女王国の防衛拠点「大率」が置かれるなど、大きく栄えた国が県内に誕生していたことが分かります。

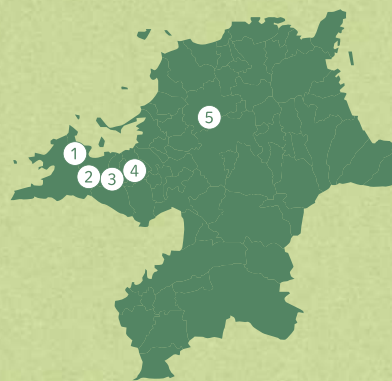
北部九州へ、稲作の伝来と青銅器・鉄器の登場



ひらつかかわぞえ
平塚川添遺跡 (朝倉市)
多重の濠を持つ環濠集落。現在は遺跡公園として、住居、祭殿、首長館、高床倉庫の一部が復元されている

県内の主な王墓分布図

弥生時代の中期から後期にかけて、副葬品の質・量ともに他と一線を画す大きな墓が県内に多数出現した



- 1 平原遺跡…国内最大の銅鏡が発見された
- 2 三雲南小路遺跡…豪華な副葬品や墳丘の大きさから伊都国王の墓とされる
- 3 吉武高木遺跡…弥生時代前期末〜中期後半の国内最古といわれる王墓が発見された
- 4 須玖岡本遺跡…国内最大級の甕棺墓が発見された
- 5 立岩堀田遺跡…前漢時代の鏡をはじめ、大量のガラス製品や南海産のゴボウラ貝の腕輪などが出土。また、この地で製作された石包丁が県内各地に流通しており、他の地域との交流が盛んであったことが分かる



ひらばる
平原遺跡 (糸島市)
王墓である1号墓のみが復元。日本国の成立に大きく関与したであろう「伊都国」の遺跡として歴史好きにはたまらないスポット

Topics

ふくおか古代遺産を「世界遺産」へ

「神宿る島」
宗像・沖ノ島と
関連遺産群

1 沖ノ島を起源とする信仰を現在に伝える宗像大社と、信仰の伝統を築いた古代の人々の古墳群からなる遺産群です。沖ノ島へは、縄文・弥生時代から人々が往来し、「神宿る島」を崇拜する伝説が古代東アジアの活発な対外交流の中で発展して、今日まで継承されてきました。



玉類

出土したガラス小玉、管玉、土製勾玉。管玉は製作途中のものがあることから、集落に玉類を作る工人集団が居住しており、すでにこの時代、技術を持った専門集団がいたと考えられる。
※写真/朝倉市教育委員会 提供

ひらつかかわぞえ
平塚川添遺跡



福岡・古代の夜明け 稲づくりから、国づくりへ

東アジアに開かれた玄関口として発展してきた福岡県は、古代においても大陸の影響を受けた豊かな文化が花開きました。大陸との深い交流の中からもたらされ、独自の発展を遂げた古代の文化から見えてくるテクノロジー(技術)をご紹介します。

ネズミ返し

復元された高床倉庫の柱に取り付けられたネズミ返し。貯蔵する大切な穀物を、ネズミなどに食い荒らされないための技術である。先人達がネズミの能力を知り、どのような工夫で被害を防いでいたのかが分かる。

ひらつかかわぞえ
平塚川添遺跡



三又鉏と鋤

環濠から出土した木製の鉏と鋤。この時代、鉄などの金属器はまだ貴重品で農具には木が使われた。しかし、それらの形も用途も現代のものに近く、想像以上に農業技術が進んでいたと思われる。
※写真/朝倉市教育委員会 提供

ひらつかかわぞえ
平塚川添遺跡

国宝

内行花文鏡

絶大な権力の証とみられる直径46.5cm・重さ約8kgの国内最大の銅鏡。平原遺跡では5面の内行花文鏡を含む、40面の銅鏡が見つかった。鏡は実用品というより、権力の象徴として、また祭祀に使われていたと考えられている。
※国(文化庁)保管
伊都国歴史博物館 展示中

ひらばる
平原遺跡



国宝

ガラス勾玉

頭部に4本の沈線のある大型の勾玉。この勾玉をはじめ、貴重なガラスやメノウで作られた色鮮やかな装身具や、身分の高い女性のみが身に付けられるピアス「耳環」が出土したことから、被葬者は有力者の女性(女王)と考えられる。
※国(文化庁)保管
伊都国歴史博物館 展示中

ひらばる
平原遺跡

国宝

素環頭大刀

長さ80.2cmの鉄製の大刀。ほとんど反りを持たない、直線状の大刀で、王の力の象徴として棺のふたの上に置かれた物と見られている。鉄も当時は貴重で、権力の証として用いられた。鉄が普及するのは弥生時代の後期になってからで、武器や工具として登場する。
※国(文化庁)保管
伊都国歴史博物館 展示中

ひらばる
平原遺跡





きらめき
マイタウン

よし とみ まち

吉富町

人から人へ。
歴史と文化を
未来へとつなぐ
伝統と人情のまち



八幡古表神社 (国指定重要有形民族文化財)

黒牛にまたがる神功皇后の御神像など、複数の国指定重要文化財を所蔵。4年に一度奉納される「細男舞・神相撲」のほか、神様の衣装を土用干しする「乾衣祭」が有名で、全国各地から多くの人々が訪れる



鉄道撮影スポット

写真は吉富町役場近くの山国川土手からのもので、他にも鉄道を堪能できるスポットが多数。のどかな田園やレトロなレンガ造りの橋と列車のコラボレーションなど、見どころがいっぱい



JR吉富駅前

平成25年に整備を行い、町の玄関口としてふさわしい駅前に。町のボランティア団体「よしとみレディース」によって花壇には季節の花々が植えられ、人々の目を楽しませている



吉富漁港

毎年4、5月に北側の干潟で潮干狩りを開催。また、港内にある吉富漁港総合グラウンドは、多目的運動広場として各種のスポーツが楽しめる



天仲寺公園

中津藩主・小笠原長次公の墳墓など、由緒ある史跡が多く残る公園。春の桜や森林浴が楽しめる人気があり、山頂の展望台からは隣県・大分の中津城を望むことができる



JA築東ふれあい市

吉富町をはじめ、近隣市町で生産された安くて新鮮な野菜や魚介類が並ぶ直売所。手作り豆腐などの加工品も人気。花の売り出しなど、時期ごとにイベントも開催されている



鈴熊山公園

「福岡県森林浴100選」にも選ばれたヒーリングスポット。山頂には国指定重要文化財である「薬師如来坐像」を本尊とする鈴熊寺がある



町が行っている「女子集客のまちづくり」プロジェクトの一環として、昨年からJR吉富駅前「よしとみガール de マルシェ」を定期的開催しています。

かわいい雑貨やおいしいパンなど、すてきなお店が勢ぞろい。女性だけでなく、小さな子どもから年配の方まで、老若男女問わず多くの方が訪れ、買い物を楽しんでいます。

次回 ▶ 7月15日(土)開催

問い合わせ

吉富町役場
築上郡吉富町広津226-1
TEL 0979-24-1122(代表)
ファクス 0979-24-3219
<https://www.town.yoshitomi.lg.jp>

自然・文化・人が輝き続けるまち

福岡県の東端に位置する吉富町は、山国川の清流と美しい周防灘に面した自然豊かな町。冬でも暖かく温暖な気候が特徴です。

「神楽」や「乾衣祭」など、歴史と文化が脈々と受け継がれる伝統の町でもあり、特に、4年に一度、8月に行われる神事「細男舞・神相撲」は、神様が相撲を取る「こと」で有名です。

面積が九州の自治体で最も小さな吉富町。ここでは、地域で守り、育んできた自然や伝統文化、人々のつながりを大切に、「小さくとも輝くまちづくり」が進められています。

ご当地キャラ紹介

かみんぐん
「神相撲」で一番強い神様・住吉大神がモチーフ。「神」と「民」をつなぐキャラクター



佐井川橋

大正時代に建設された当時としては珍しい鉄筋コンクリート製の橋。現在まで大規模な改修もなく利用されており、平成28年11月には「土木学会選奨土木遺産」にも登録された。大正ロマンの面影を残しながら、今も人々の往來を見守っている



チャレンジショップ

「女子集客のまちづくり」プロジェクトの一環として、最長3年間、安価な家賃で店を開くことができる事業を展開。現在は駅前に3店舗が営業中



英会話ふれあい事業

中学校就学前までの子どもたちを対象として、日常的に英語に親しむ機会を提供。外国人講師によるレッスンで、日常会話の習得を目指している



美だいこん

町のブランド野菜の一つである赤大根で、ポリフェノールの一種・アントシアニンが豊富。まるで柿のような甘みの特徴



土屋神楽(左)/吉富神楽(右)

吉富町を含む京築地域は、古くから神楽が盛ん。町では、その起源が1787(天明7)年と伝えられる土屋神楽と、神楽好きの有志により平成11年につくられた吉富神楽が伝承されている



pick up ピックアップ

読み聞かせ会

まほうのかばん・とんからりん文庫

本を知ってもらい、
本を好きになってもらう

今でこそ全国各地に存在する読み聞かせ団体ですが、実は吉富町はその先駆的存在。主に吉富小学校で読み聞かせを行う「まほうのかばん」が発足したのは、読み聞かせがブームになるずっと前の平成7年です。「PTA役員が集まって、子どもたちのためにもっとできることはないかと始めたのがきっかけ。当時はまだ受け入れ態勢がなく、小学校にも自分たちから『やらせてください』とお願いに行っていました」と代表の向野美和子さんは話します。

また、元小学校校長の土屋富子さんが主宰する「とんからりん文庫」も、読み聞かせ団体の一つ。「読み聞かせで子育てをもっと楽しんでほしい」との願いを込めて、主に乳幼児対象のお話会や読書啓発活動を行っています。



1/「まほうのかばん」は、お昼休みの「お話会」や朝の読書の時間に読み聞かせを行っている 2/「とんからりん文庫」の発足は、代表の土屋さんが自宅に私設図書館を造ったのがきっかけ 3/「まほうのかばん」代表の向野美和子さん(後列・左から2番目)と「とんからりん文庫」代表の土屋富子さん(前列・右)と各メンバーの皆さん

1
3 | 2

細男舞・神相撲保存会

魅せて、伝えて、
“神様の相撲”を守り続けたい

吉富町を代表する神社である八幡古表神社で4年に一度(次は2020年)開催される神事「細男舞・神相撲」を執り行い、次代へと伝えていく。それが「細男舞・神相撲保存会」の大切な役割です。昭和47年にスタートしたこの会は、高校生から60代まで、吉富町とその歴史・伝統を愛する約15人のメンバーで活動しています。

活動内容は、八幡古表神社のお祭りの手伝い全般ですが、「細男舞・神相撲」が開催される年は、ゴールデンウィークが終わった頃から8月の本番に向けて練習を重ねるので、とても忙しいのだとか。木でできた神様を操って舞や相撲を表現することはとても難しく、練習も大変ですが、「ご覧になる方はもちろん、何よりも神様に喜んでいただけたら」と会長の高瀬正直さん。最近では後継者が不足しており、「ぜひ若い人たちが入会してくれたら」と願っています。



1/見ている人に相撲をしていることが伝わるよう、流れや一つ一つの動きに注意しているのだとか 2/毎年8月6日・7日には神様の着物を土用干しする「乾衣祭」を開催 3/小学生の頃からこの保存会で活動している会長の高瀬正直さん

1
3 | 2

キッズクラブ

さまざまな体験を通して心豊かな
子どもたちを育てていきたい

平成14年に発足した「キッズクラブ」は、子どもたちがいろいろなことに興味や関心を持つための「学びや気付きのきっかけの場」や「居場所づくり」を行う町のボランティア団体。クッキングやプラスバンド、バドミントン、神楽、ダンスなど年間を通してさまざまな体験教室を開催しています。

会長の和才信子さんは「最近では一人っ子や両親が共働きで留守番をしている子どもが多い。そんな子どもや親を支えたい。地域のみんなで子育てができれば」と思いを語ります。夏には1泊2日のサマー合宿があるほか、毎年3月には各教室の発表などを行う「キッズフェスティバル in 吉富」も開催。一年間の集大成を披露する子どもたちを町中で盛り上げ、見守ります。



1/クッキング教室では、チキンライスやオムレツ、餃子、ホットケーキなどをみんなで楽しみながら作る 2/陶芸や木工、合気道、茶道、手芸などいろいろな体験ができる「チャレンジ☆コース」も人気 3/「町の子どもたちがどんなふう^{まほうのかばん}に育っていくのが楽しみ」と話す会長の和才信子さん(左)と、陶芸教室担当の佐田秀俊さん(右)

1
3 | 2

よしとみレディース

生き生きと輝く町の女性たちが
吉富をもっと豊かに

吉富町の主婦たちが平成8年に結成した「よしとみレディース」は、女性の地位向上を目的に、ボランティア活動や生涯学習を実践する団体。現在62人のメンバーが、JR吉富駅前の花壇活動や健康をテーマにした講演会の開催、老人ホームの慰問などを行っています。

「活動していると町の人ともつながっていく。それがとてもうれしいですね。家の中にいるだけでなく積極的に出ることによって、メンバーにとっては出会い、ふれあいの場になります」と会長の土屋克子さん。仲間と楽しみながら町に貢献できる活動を行っています。

平成26年にはJR吉富駅前の花壇活動が認められ、国土交通大臣表彰も受賞。思いがけないご褒美は、メンバー全員の励みとなりました。



1/吉富駅前の花壇活動は、駅が開された2年後の平成9年からずっと続けている 2/新聞紙で作ったエコバッグ。お正月飾りやクリスマスリースなど、いろいろなクラフトも楽しんでいる 3/「月に一度の活動は、仲間と会える楽しいひとときでもあります」と話す会長の土屋克子さん(右)と副会長の山本タツ子さん(左)

1
3 | 2

ご当地 アイスを 探しに 行こう！

県内各地で出会える
”ご当地アイス”は、
地域の特産品や思いが
ギュッと詰まったおいしさと
オリジナリテイが魅力。
今年の夏は爽やかに、
”ご当地アイス”巡りは
いかがですか？



行橋美夜古ジェラート

京都郡・行橋市一帯の古名「美夜古」を冠した、優美なネーミングにふさわしい色合い

(手前から時計回りに) 蓬莱いちじく・汐彩ミルク・今川桜 各240円(税込)

販売場所: JR行橋駅構内の観光物産情報コーナー ☎/ファクス 0930-25-0086

行橋らしさが
詰まった大人の
ジェラート

行橋市と行橋市観光協会が企画・開発した「行橋美夜古ジェラート」。その種類は、行橋産のいちじく「蓬莱柿」を使い、ジュネーシーさを追求した「蓬莱いちじく」、キリッと引き締まった塩味がおいしい「汐彩ミルク」、そして地元産の米焼酎が上品に香る「今川桜」の3種類です。いずれも少し大人っぽい味わいなのが特長。それもそのはず、開発の背景には、「大人が満足できる本物のおいしさを届きたい」との思いがあったそうです。

しじみソフト 500円(税込)

バニラソフトに乾燥しじみと桜パウダーをトッピング。しじみのサクサクとした食感と風味もクセになります。

販売場所: 道の駅おおとう桜街道(大任町)
☎0947-63-4430
ファクス 0947-63-4431

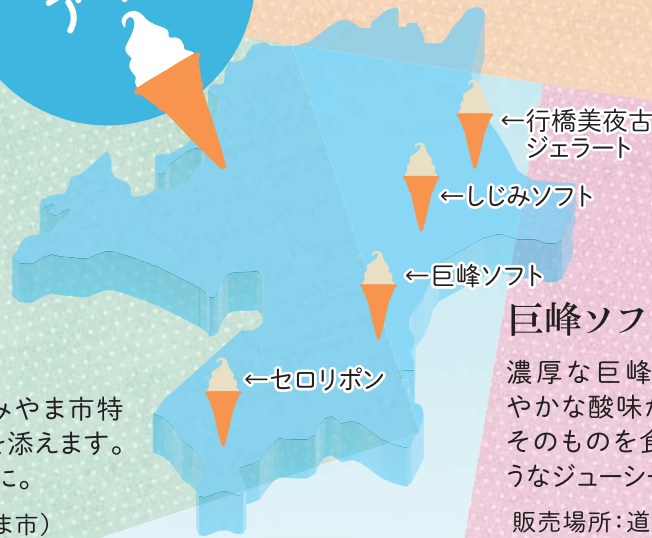


巨峰ソフト 250円(税込)

濃厚な巨峰の甘みと爽やかな酸味が絶品。巨峰そのものを食べているようなジューシーさです。

販売場所: 道の駅原鶴(朝倉市)
☎0946-63-3888
ファクス 0946-63-3889

まだまだあります!
ご当地
アイス



セロリポン 350円(税込)

柳川牛乳ソフトをベースにみやま市特産のセロリがほのかな風味を添えます。ポン菓子の食感もアクセントに。

販売場所: 道の駅みやま(みやま市)
☎0944-67-6477
ファクス 0944-67-6478

定番の“行橋土産”として全国に広がってほしい

その場で食べるソフトクリームではなく、お持ち帰り用のジェラートにした理由は、行橋市の土産物として販売するため。帰省した人や訪れた人が全国各地に持って帰り、「行橋」という名前を遠くまで広げてくれたら、との思いが込められています。行橋市と観光協会では、今後さらなる商品開発を進めていく予定です。

6個入りの贈答用も→



やさしいタッチの
手書きイラストが
印象的なパッケージ



今川桜

市内を流れる今川の桜並木をイメージした米焼酎「今川桜」が香る



汐彩ミルク

その昔、陸海の交通の要所として栄えた行橋の歴史深い海をイメージ



蓬莱いちじく

県内1位の生産を誇るいちじくをふんだんに使用



デザインの力で 福岡から全国へ、 そして世界へ



県花である
”梅の花“を
モチーフに

ワインや日本酒を華やかに飾る
「博多水引ボトルリボン」。ボトルに
スッとかけるだけで、幸せを運ぶ
特別な贈り物やおもてなしの



商品開発にデザインを活用し、新たなビジネスの
展開につなげるためスタートした「福岡デザイン
アワード」は、平成29年度で19回目を迎えました。
平成28年度に大賞を受賞した「博多水引ボトル
リボン」をはじめ、福岡デザインアワードを通じて、
長く愛される「福岡発」の魅力的な商品たちが、
日本全国、そして世界に広がっています。

受け継いだ伝統に 新しい息吹を

アイテムへと変化させてくれます。
ご祝儀袋にも見られるように、
昔から水引を結ぶことで、贈り物
に心を込める文化を育んできた
日本人にとって、この商品のコン
セプトと美しいデザインは、懐か
しさと新しさが融合したものだ。
福岡だけでなく、日本全国で多
くの人の心をつかんでいます。

その魅力は、福岡県のシンボル
である梅の花を用いた立体的で
美しいデザイン。「博多水引」は
博多らしさを感じさせるシンプル
でエネルギー感あふれるデザインが
キョッと締めて立体的にした梅の
花の形は「博多水引」の高度な技
術力があるからこそできる技で
す」と、開発者の長澤宏美さんは
話します。

「博多水引」を生み出したのは、
長澤さんのお父さま。その技術
を受け継ぎながらも、広告代理
店でグラフィックデザイナーとし
て勤務した経歴を持つ長澤さん
は、そこに独自のモダンなデザイ
ンを加え、新たな水引を生み出
しています。「結び方や本数な
どは基本と伝統に忠実に。でも、
色違いやデザインは革新的にと
長澤さん。水引の文化を現代の
ライフスタイルにマッチさせた「博
多水引ボトルリボン」は、古来
より受け継がれた日本人の思
いと博多の、粋を私たちに思い
起こさせてくれる逸品です。



「水引業界全体を元気にしたい」と話す
ながさわ結納店の長澤宏美さん

第18回福岡デザインアワード 優秀賞



1/



2/



3/



4/



5/



6/

- ベチベルミストPRO
株式会社アルサ
- 二丈紅白米
にじょうこうはくまい
ゴー オーガニクス ジャパン
サ ロ ン ド ア ン プ レ
- SALON DE AMBRE
奈良漬 × クリームチーズ
有限会社奈良漬さろん安部
- アサヒメディカルウォーク
WKL003、WKM003
株式会社アサヒコーポレーション
- Haori Cup
奈須田友也
- 神棚「奉り」
まつ
有限会社アマート

「第19回福岡デザインアワード」出品者募集

これまで県内に事業所を置く企業に限
定していましたが、今回より全国から出品を
募ります。デザインアワードに参加すること
でさまざまな評価とアイデアを得られ、商品
開発にも磨きがかかります。また、入賞する
ことで販路の獲得にもつながります。

【募集スケジュール】

- 応募期間／平成29年6月2日(金)～8月10日(木)
- 1次審査(書類審査)／平成29年9月上旬
- 2次審査(公開審査)／平成29年11月7日(火)
- 表彰式／平成29年11月8日(水)
- 審査会場／JR九州ホール(福岡市博多区博多駅中央街1-1)
- 応募方法／公式サイト(<http://award.fida.jp>)より受付
- 問い合わせ／福岡県産業デザイン協議会事務局
☎092-643-3591 ファクス 092-643-3427

応募料
無 料

博多水引ボトルリボン 東急ハンズ博多店1階、博多阪急7階、福岡三越8階「日本橋木屋」にて常設展示・販売
有限会社ながさわ結納店
福岡市博多区上呉服町13-231 ☎092-271-0813 <http://www.hakatamizuhiki.co.jp/>



県政フラッシュ

交通事故のない 福岡県を目指して

4月6日、「春の交通安全フェアin中央」が福岡市で開催され、企業による黄色ワッペン の贈呈、児童による交通安全宣言、アイドルグループ「LinQ」による交通安全メッセージの発信などが行われました。また、15日までの10日間、子どもと高齢者の交通事故防止や飲酒運転の撲滅、歩行中・自転車乗用中の交通事故防止、シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底などを呼びかけるキャンペーン活動を行いました。



『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」を 世界遺産に

県では、宗像市、福津市と共に「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議を設置し、平成21年度から『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録に向けた取り組みを続けています。登録の可否が決定される今年7月の世界遺産委員会を控え、4月17日、福津市で推進会議が開催され、資産の保護や来訪者対策、遺産群の価値や魅力のさらなる発信のための今年度の事業案が承認されました。



一日も早い 復興を祈念して

昨年4月に発生した平成28年熊本地震は、熊本県を中心に甚大な被害を与えました。熊本地震の発生から1年を迎えた4月14日、「熊本地震復興祈念コンサート」が県庁ロビーで開催され、陸上自衛隊第4師団第4音楽隊の皆さんが演奏を披露しました。会場を訪れた人たちは、力強い演奏を聴きながら、被災地の一日も早い復興を祈念しました。



有明海で アサリが豊漁!

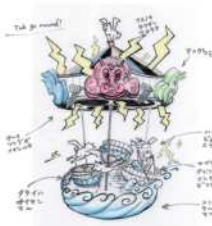
県では、有明海の漁場環境を改善するために漁場に砂をまいており、その漁場を中心にアサリの稚貝が大量に発生しました。その後、県と有明海漁連が連携して稚貝の移植や保護区の設定などの資源管理に取り組んだ結果、アサリは順調に生育し、今年3月時点の資源量は5500トンと平成20年以來の高い水準となりました。アサリの豊漁に加え、ノリの生産額も15年ぶりに180億円を超え、春の有明海は活気に包まれました。



九州芸文館

CHIKUGO ART POT 2017 そーまのたらい展

筑後地域の魅力に注目しながら地域と一緒に
展覧会を作り上げるプロジェクト「CHIKUGO
ART POT」の第一弾。「街と、そこに暮らす人々
とのつながり」をテーマに、思わず笑ってしまうイン
パクトのある作品を展開するアーティストユニ
ット「KOSUGE1-16」(土谷享・車田智志乃)の
展覧会を開催します。



《Tab go round!》
ブランドローイング 2016年

問い合わせ 九州芸文館 筑後市津島1131 ☎0942-52-6435 ファクス0942-52-6470 <http://www.kyushu-geibun.jp/>

- 会 期 7月1日(土)～8月27日(日)
- 観覧時間 10時～17時
- 休館日 月曜日 ※ただし7月17日(月・祝)は開館、
7月18日(火)は休館
- 観覧料 無料(ワークショップなどは一部有料の場合あり)
- 交通アクセス
◎九州新幹線・JR鹿児島本線 筑後船小屋駅下車 徒歩約1分
◎九州自動車道 八女ICから車で約10分 みやま柳川ICから車で約15分
- 期間中のイベント
◎遊具型の大型作品の展示
◎川下りを模したレースのワークショップなど

九州国立博物館

特別展「世界遺産 ラスコー展 クロマニヨン人が見た世界」

今から2万年ほど前、フランス南
西部のラスコー洞窟に壮大な壁
画が描かれました。本展では謎に
包まれたラスコー洞窟の全貌を紹
介するとともに、1ミリメートル以下
の精度で再現した実物大の洞窟
壁画展示によって、研究者ですら
入ることができない洞窟内部の世
界を体験することができます。



(復元)褐色のバイソン
© Photographie N. Aujoulat-CNP-MCC

問い合わせ 九州国立博物館 太宰府市石坂4-7-2 ☎ハローダイヤル050-5542-8600 ファクス092-929-3276 <http://www.kyuhaku.jp/>

- 会 期 7月11日(火)～9月3日(日)
- 観覧時間 9時30分～17時
毎週金・土曜日は20時まで開館延長
(入館は閉館時間の各30分前まで)
- 休館日 月曜日 ※ただし7月17日(月・祝)、
8月14日(月)は開館、7月18日(火)は休館
- 観覧料
一 般 通常 1,600円(1,400円) 夜間 1,400円
高 大 生 料 金 1,000円(800円) 割引 料 金 800円
小 中 生 600円(400円) 400円
※夜間開館日の17時以降に当館内券売所で割引チケットを販売
()内は前売り、有料の方が20人以上の団体料金
- 交通アクセス ◎西鉄太宰府線 太宰府駅下車 徒歩約10分
◎九州自動車道 太宰府ICまたは筑紫野ICから車で約20分
- 期間中のイベント
◎ナイトミュージアム「クロマニヨン人現る!!」
7月15日(土)・8月4日(金) 17時～20時の間に何度か出現
会場:3階特別展示会場内
料金:特別展観覧券が必要、事前申込不要

福岡共同公文書館

福岡の広報紙展 ～伝えたい!知ってほしい! 行政の取り組み～

県や市町村の地域性豊かな広報紙を一
堂に展示し、貴重な創刊号や全国広報コ
ンクールの受賞広報紙などを紹介します。
また、広報紙ができるまでの編集作業や、
県広報紙「ふくおか」(「グラフふくおか」の
前身)の紙面から見えてくる社会の移り変
わりを振り返ります。



県広報紙『ふくおか』
(昭和26年度)

問い合わせ 福岡共同公文書館 筑紫野市上古賀1-3-1 ☎092-919-6166 ファクス092-919-6168 <http://kobunsyokan.pref.fukuoka.lg.jp/>

- 会 期 7月19日(水)～9月24日(日)
- 観覧時間 9時～17時
- 休館日 月曜日、祝日、9月19日(火)
- 観覧料 無料
- 交通アクセス ◎西鉄バス「警察署前」下車 徒歩約1分
◎JR鹿児島本線 二日市駅下車 徒歩約13分
◎九州自動車道 筑紫野ICから車で約5分
- 期間中のイベント
◎講演会「市町村広報紙に求められるもの
～災害報道の経験から～」
講師:(株)西日本新聞社 報道センター 社会部 記者 吉田 真紀氏
日時:7月30日(日)14時～15時30分
場所:2階研修室
※参加無料、事前申込要

福岡県広報の ごあんない

■ テレビ番組

TVQ「飛び出せ!サークル“ふくおか研”」 毎週土曜日放送/20時54分～21時
RKB「福岡県庁知らせた課」 毎週日曜日放送/16時54分～17時

■ ラジオ番組

FM福岡「福岡県だより」 毎週月・木曜日/9時35分～9時40分

■ インターネット

福岡県ホームページ
<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/>
ふくおかインターネットテレビ
<http://webtv.pref.fukuoka.lg.jp/>

Twitter(ツイッター)

アカウント 名 前…福岡県庁
ユーザー名…@Pref_Fukuoka
https://twitter.com/Pref_Fukuoka

LINE@(ラインアット)

アカウント 名 前…福岡県庁
ユーザーID…@pref_fukuoka



LINE@

● 広報紙配信アプリ「マチイロ」

「グラフふくおか」をスマホで!



ダウンロードはこちらから



マチイロ



県議会の一年

県議会が年間を通してどのような活動を行っているのかを紹介します。

県議会案内

県議会の活動などをよく知っていただく機会です。お気軽にお申し込みください。

12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月
12月定例会			9月定例会			6月定例会				2月定例会	
委員会の調査活動											

※開催時期は多少変わることがあります。
※臨時会は必要に応じて随時開催されます。

県議会には、2月、6月、9月、12月の年4回開催される定例会と、必要に応じて開催される臨時会とがあります。議員全員を集めて開催する会議を本会議といひ、県議会の最終的な意思決定はここで行われます。

また、県の業務は幅広く複雑なため、議案などを専門的かつ詳細に審査する委員会が設置されています。委員会は会期中のほか、閉会中(本会議が開催されていない期間)も必要に応じて開かれ、審査や調査が行われています。

このように県議会では、本会議での審議や委員会の調査など、年間を通して活動が行われています。

議会見学

県議会では、小中学生の社会科見学や地域団体・グループの方々などの施設見学を受け入れています。係員が議場などにご案内し、議会の仕組みや施設の説明をされるとともに皆さんからの質問にお答えします。見学時間は、平日の10時30分から15時15分までの間で、所要時間は20分程度です。なお、原則として議会会期中は見学ができません。

見学申込方法

見学を希望される方は、事前に議会事務局総務課にお申し込みください。
☎092(643)3823



定例会と臨時会

定例会
定例会では、予算や条例などの議案、請願、意見書などが審議されます。

臨時会

臨時会は、急を要する条例改正や補正予算などの議案の審議、正副議長選挙など、必要に応じて随時開催されます。

常任委員会と特別委員会

常任委員会
常任委員会は、所管事項ごとに8つの委員会(総務企画地域振興、厚生労働環境、県民生活商工、農林水産、県土整備、建築都市、文教、警察)が設置されており、会期中は議案や請願などの審査を行い、閉会中は本会議で付議された事項の調査、現地視察などの活動が行われています。

調査特別委員会

調査特別委員会は、特定の案件を審査したり、調査したりするため、必要に応じて設置されます。

議会の傍聴

県議会の会議は、公開を原則としていますので、お申し出があれば会議中はいつでも傍聴できます。

定例会などの本会議は、原則として午前11時に開会されますので、傍聴を希望する方には、会議の日の午前10時から県議会棟1階の玄関ホールで先着順に傍聴券を交付しています。ただし、危険物を携帯するなど会議の秩序を乱す恐れがあると認められる場合は傍聴できません。

また、常任委員会や調査特別委員会、予算および決算特別委員会も傍聴することが出来ます。これらの委員会の傍聴券は、開会の1時間前から委員会ごとに交付しています。

傍聴席では、県民の皆さんの代表者である議員の意見や質問、また知事や教育長などの行政責任者の答弁を通して、議会の活動、県の課題、あるいは県政の推進方向が直接伝わってくると思います。

議場の傍聴席には車いす用のスペースも設けていますので、車いすをご使用の方も傍聴できるようにしています。

また、本会議傍聴席では、手話通訳がご利用いただけます。必要とされる

予算特別委員会

【開催時期】
2月定例会中(3月中旬～下旬)
※議員改選の年は6月定例会中(7月上旬～中旬)

当初予算議案が提出される定例会に、本会議の議決により31人の委員で構成される予算特別委員会が設置されます。予算特別委員会は、定例会中に審査日を設け、付託された当初予算議案について審査が行われます。審査経過ならびに結果については、当該定例会の本会議において委員長から報告され、採決されます。

決算特別委員会

【開催時期】
9月定例会中(10月上旬～中旬)

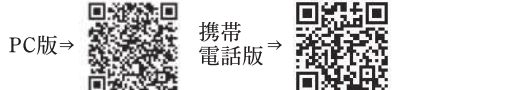
決算関係議案が提出される9月定例会に、本会議の議決により31人の委員で構成される決算特別委員会が設置されます。

決算特別委員会は、定例会中に審査日を設け、付託された議案(前年度の決算など)について審査が行われます。審査経過ならびに結果については、当該定例会の本会議において委員長から報告され、採決されます。

場合は、傍聴希望日の5日前までに議会事務局総務課にお申し込みください。
☎092(643)3823



皆さんも県議会を傍聴してみませんか



県議会の動き

県議会の最近の取り組みについて、その一部の概要を紹介します。



予算特別委員会

2月定例会において、予算特別委員会を設置され、平成29年度福岡県一般会計予算など20件の当初予算議案の審査を行いました。

審査に当たっては、二元代表制の趣旨を踏まえ、特に県政の重点課題を中心に多岐にわたって活発な議論が交わされました。審査の過程において議論された主な内容は次のとおりです。



予算特別委員会審査風景

- ふるさと納税について
- 公共施設等総合管理計画について（維持管理・修繕・更新等の推進、施設の最適配置や民間活力等の活用など）
- 危機管理について（博多駅前道路陥没事故後の関係の市町村関係部署同士・首長同士の連携、避難行動要支援者名簿の早期整備・更新状況の把握など）
- スポーツの振興について（2020年のオリンピック・パラリンピックを見据えた取り崩し型のスポーツ振興にかかる基金の創設など）
- 少子化対策について（出会い結婚応援事業など）
- 観光振興について（観光振興による地方創生、観光協会のDMO化、文化芸術魅力発信事業など）
- 農業問題について（鳥獣被害対策など）
- 教育問題について（教育事務所の活性化、学力向上施策の改善の徹底、文化財保護、高校生向けの進学・就職支援など）

このほか、医療情報ネットワーク、5歳児健診、福岡県地球温暖化対策実行計画、県産材の供給力強化、北部九州の自動車産業振興、創業支援、県住宅供給公社の空き家対策、性犯罪の撲滅、高齢運転者の事故抑止対策など、多岐にわたって質疑、要望がなされました。

議案審査終了後、付託を受けた20件の議案について採決を行い、いずれの議案も原案のとおり可決しました。



九州各県議会議長会議

5月16日、九州各県議会議長会議が鹿児島市において開催され、中尾正幸議長と佐々木徹副議長が出席しました。

会議では、本県提案の「勤務獣医師の人材確保について」、「鳥獣被害防止対策の充実について」など、各県議会から提案された23の議案について審議を行い、九州各県議会議長会の要望事項として関係省庁に提出することなどが決定されたほか、「北朝鮮の暴挙に抗議し国際社会の平和と安定の確保を求める決議」および「北朝鮮による日本人拉致問題の早急な解決を求める決議」が議決されました。



5月臨時議会

【臨時会の開催状況】

5月22日に開かれた5月臨時会において、議長・副議長の選挙、常任委員会・議会運営委員会委員の選任などが行われ、議会の新しい体制が発足しました。

議長紹介



議長 樋口明
(会派名 自民党県議団)

昭和45年10月15日生
福岡市南区横手4丁目5番1号

平成15年4月
福岡県議会議員就任(4期)
平成29年5月
第67代福岡県議会議長就任

副議長紹介



副議長 守谷正人
(会派名 民進党・県政県議団)

昭和40年6月21日生
福岡市城南区別府6丁目2番10号

平成19年4月
福岡県議会議員就任(3期)
平成29年5月
第79代福岡県議会副議長就任

就任にあたって

第67代福岡県議会議長に推挙を賜り、大変身に余る光栄でありますとともに身の引き締まる思いでございます。もとより浅学非才な私でございますが、二元代表制の一翼を担う県議会の公正かつ円滑な運営に心がけ、ひいては福岡県政発展のために全力を尽くしてまいります所存でございます。

福岡県議会議長 樋口明



九州・沖縄未来創造会議 P T 会議

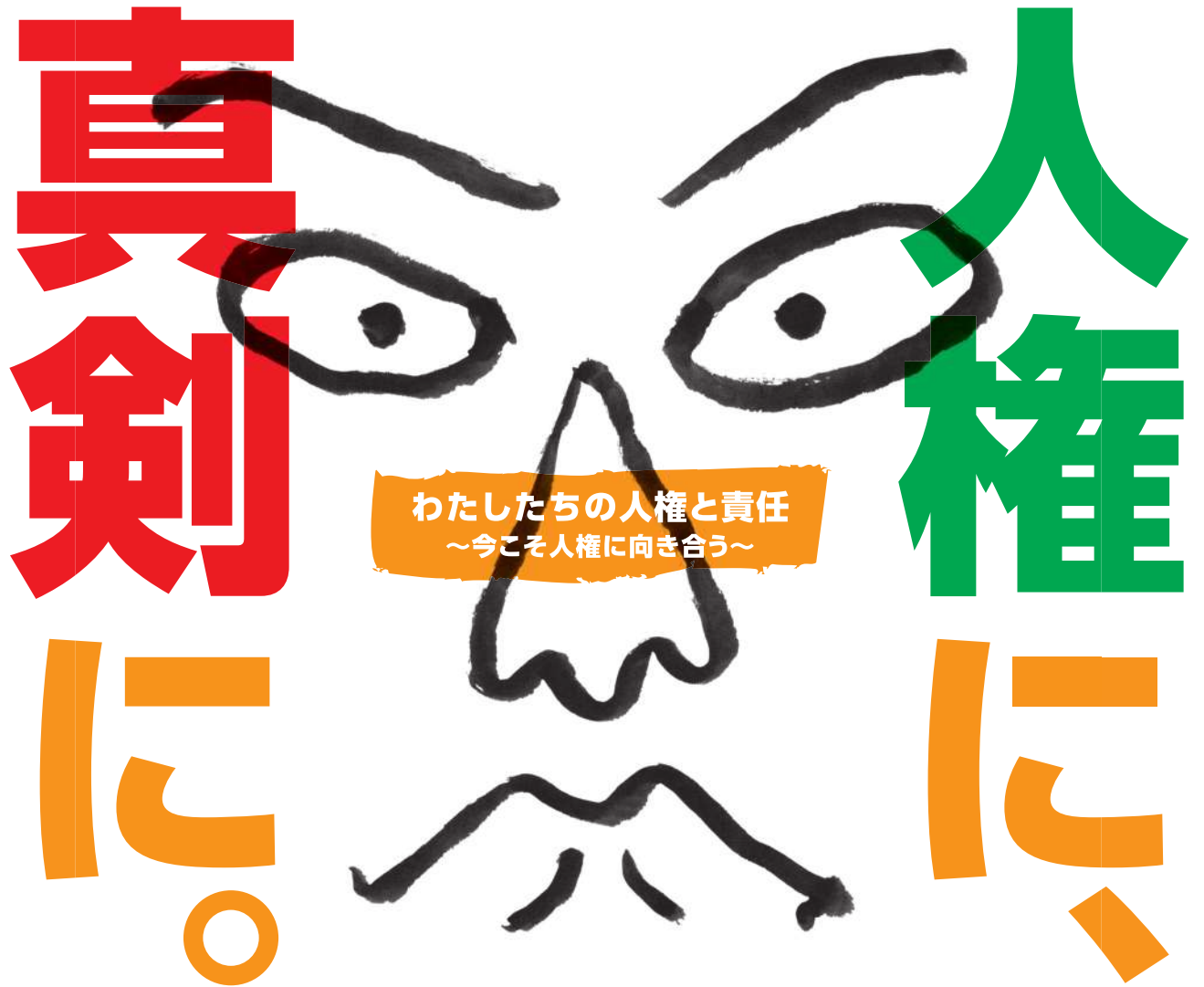
4月24日、九州・沖縄未来創造会議プロジェクトチームの会議が長崎県庁で開催され、本県議会から松尾統章議員、守谷正人議員、大塚勝利議員、吉武邦彦議員が参加しました。

この会議は、九州各県議会議長会から諮問された「九州・沖縄が一体となった海外戦略」について検討・協議を行っており、今回は、九州・沖縄が一体となって取り組む2019年・2020年に向けた観光戦略や農水産物の輸出戦略などに関するこれまでの議論をとりまとめた提言(案)が議題とされました。



本県の議員から、提言事項のうち「九州各県による海外事務所の共同設置」に関し、各県の海外戦略を踏まえた海外事務所の役割の明確化と各県の負担の公平化が必要との意見や既に複数県が設置している事務所の統合も必要との意見が出されるなど活発な議論が交わされました。提言案は次回継続協議となりました。

7月は「同和問題啓発強調月間」です。



わたしたちの人権と責任
~今こそ人権に向き合う~

グラフ ふうおか 夏 2017 SUMMER
No.587 GRAPH FUKUOKA

通巻587号 平成29年6月20日発行(季刊)
発行 / 福岡県 県民情報広報課
〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号 ☎092(643)3102(直通) フォクス092(632)5331

平成29年度 同和問題啓発強調月間講演会

要約筆記
あり

手話通訳
あり

託児あり
無料
事前申し込み必要

日時 平成29年7月22日(土)
13:30開演 (12:30開場) 入場無料 申込不要

会場 クローバープラザ
春日市原町3-1-7
アリーナ棟2階 大ホール



第1部 講演

13:35~15:05

「憲法とは何か
——憲法と人権について考える」

講師:南野 森さん (九州大学法学部教授)

東京大学法学部、同大学院を経て、パリ第十大学大学院で憲法学を専攻。2002年から九州大学法学部准教授、2014年から同教授。

専門分野に関する著作は多彩で、AKB48のメンバーとの共著「憲法主義」は話題となった。また、テレビ・ラジオのコメントーターや地方自治体(福岡県・福岡市)の審議会委員などを務め、講演を全国各地で行うなど、幅広い活動を続けている。

第2部 映画上映 15:15~16:15

アニメ「ジュノー」

国を越え、人種を越えて、無償の愛に生きたスイス人医師「マルセル・ジュノー博士」の生涯を描いたアニメーション。



第43回
特別展

わたしたちの
人権と責任
~今こそ人権に
向き合う~

期間

平成29年
7月1日(土)

平成29年
10月31日(火)

9:00~21:00

※祝日は17:00まで

問い合わせ先 (公財)福岡県人権啓発情報センター ☎092-584-1271 ファクス092-584-1273 主催:福岡県/福岡県教育委員会/(公財)福岡県人権啓発情報センター
http://www.fukuokaken-jinken.or.jp 共催:福岡県人権啓発活動ネットワーク協議会

ひとりで悩まずご相談ください みんなの人権110番 0570-003-110 (最寄りの法務局、地方自治局につながります。)

福岡県広報部長 エコト
この広報紙は再生紙を使用。
印刷用の紙へリサイクル可。
印刷/福岡総合印刷株式会社